HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	坂井昭宏教授 略歴および業績
Citation	哲学, 44, 1-6
Issue Date	2008-02-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35048
Type	other
File Information	44_RP1-6.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP



坂井昭宏教授

坂井昭宏教授　略歴および業績

昭和一八年一〇月一八日生まれ

【学　歴】

昭和三七年三月　北海道札幌北高等学校卒業
昭和四二年三月　北海道大学文学部哲学科卒業
昭和四五年三月　北海道大学大学院文学研究科（哲学専攻）修士課程修了
昭和五〇年三月　北海道大学大学院文学研究科（哲学専攻）博士後期課程単位修得退学

【職　歴】

昭和五〇年四月　千葉大学教養部講師（哲学）
昭和五一年一二月　千葉大学教養部助教授（哲学）
昭和六二年六月　千葉大学教養部教授（哲学）
平成二年四月　北海道大学文学部西洋哲学第三講座助教授
平成七年七月　北海道大学文学部倫理学講座教授
平成一二年四月　北海道大学大学院文学研究科倫理学講座教授
平成一九年三月　同、定年により退職
平成一九年四月　桜美林大学教授（倫理学）

【編著書】

『認識と行動－一三の視点』（共編者、玉野井逸朗、上村保子）培風館、全二七四頁、昭和六〇年一〇月

『美と新生』（共編者、中森義宗）東信堂、全三一六頁、昭和六三年三月

『情念の哲学』（共編者、伊藤勝彦）東信堂、全二七五頁、平成四年三月

『安楽死か尊厳死か』（編）北海道大学図書刊行会、全三〇八頁、平成八年一〇月

『バイオエシックスの展望』（共編者、松岡悦子）東信堂、全三〇二頁、平成一六年五月

『哲学』（共監修、宇都宮輝夫、藤井教公）ＰＨＰ、全二二二頁、平成一七年一月

『イラストでわかるやさしい哲学』（共監修、宇都宮輝夫）成美堂出版、全二三五頁、平成一九年一月

『現代倫理学』（共編者、柏葉武秀）ナカニシヤ出版、全二〇三頁、平成一九年五月

【学術論文】

「デカルトの時間論」『理想』四五四号、理想社、三六－五〇頁、昭和四六年二月

「デカルトと永遠真理」『哲学』八号、北海道大学哲学会、三〇－六一頁、昭和四七年六月

「デカルトの弁神論（上）－自由と全能」札幌商科大学・札幌短期大学会編『論集』一一号、一一五－一二八頁、昭和四八年一一月

「デカルトの弁神論（下）－自己原因と神の誠実」札幌商科大学・札幌短期大学会編『論集』一二号、一〇七－一二三頁、昭和四九年三月

「デカルトと明証性（上）－『哲学原理』第一部四五・四六節をめぐって」『千葉大学教養部研究報告』Ａ－9、三－二二頁、昭和五一年一二月

「デカルトと明証性（中）－『哲学原理』第一部四五・四六節をめぐって」『千葉大学教養部研究報告』A－10、二一－三九頁、昭和五二年一二月

「ルネッサンスの哲学」「古典的理性の哲学」「現代フランス哲学」小牧治編『哲学－現代の哲学的思索のために』六五－九五頁、一九四－一〇二頁、昭和五四年四月

「コギト・エルゴ・スム－英語の文献によるデカルト研究の現状」『千葉大学教養部研究報告』A－11、三－六三頁、昭和五四年一二月

「デカルトの二元論－心身分離と心身結合の同時的存立について」『千葉大学教養部研究報告』A－13、一四一－一七一頁、昭和五五年一二月、デカルト研究会編『現代デカルト論集Ⅲ日本編』勁草書房、五九－九〇頁、平成八年九月

「エラスムスとルター」中森・岩重共編『ルネッサンスの人間像』近藤書店、一六五－二〇〇頁、昭和五六年七月

「デカルトの二元論－実体的結合の体系的位置と実在的区別の論証」『千葉大学教養部研究報告』A－14続、三六－四一〇頁、昭和五七年三月

「スム・レス・コギタンス－デカルトの錯誤」『理想』五八九号、理想社、二一－一六頁、昭和五七年六月

「原理としてのコギト」谷島喬四郎編『近代思想の展開』勁草書房、七五－一〇二頁、昭和五八年四月

「第二省察第二部分註解」（共著）「デカルト『省察』の（共同作業による）批判的註解とその基本的諸テーマの問題論的研究」昭和六〇年度科学研究費補助金（総合研究A）研究成果報告書、研究代表者中央大学教授所雄章、八四－一一四頁、昭和六一年三月

「身体交換と人物の同定」『千葉大学教養部研究報告』A－19下、一－二四頁、昭和六二年三月

「医療資源のミクロ配分－功利主義的配分の適用条件とその規準」『生命倫理の基本的カテゴリー』に関する哲学的

分析と社会的文化的背景に関する総合的研究』昭和六三年度科学研究費補助金（一般研究C）研究成果報告書（研究課題番号 62510025）研究代表者千葉大学助教授飯田亘之、一〇一 - 一〇六頁、平成元年三月

「不朽の名声を求めて－評伝モンテスキュー」『千葉大学教養部研究報告』A－21、一 - 三一頁、平成元年三月

「捨身飼虎－栃木県「尊厳死移植」事件の反省－」『バイオ・メディカル・エシックス共同プロジェクト研究成果報告書』平成四年度北海道大学教育研究特別経費研究成果報告書、研究代表者北海道大学文学部助教授坂井昭宏、七三 - 九二頁、平成五年三月

Sakai, A., K. Yoshitani and T. Ozawa, 'Descartes on the Perception of Primary Qualities : Objections Against Prof. Wilson,'（共著）『哲学』第三〇号、北海道大学哲学会、一 - 一一頁、平成五年七月

「医療と正義」今井・香川共編『バイオエシックス入門第二版』東信堂、一八九 - 二〇六頁、平成七年四月

「生命倫理と文化相対主義」『公開シンポジウム正義は異文化の壁を乗り越えられるか』平成七年度北海道大学文学部プロジェクト報告書、研究代表者北海道大学文学部教授瀧川哲夫、二四 - 三三頁、平成八年三月

「セックスとジェンダーの迷路－性同一性障害と性転換手術」（共著者、佐藤拓司）『生命・環境・科学技術倫理研究Ⅳ』千葉大学文学部、二一八 - 二二九頁、平成一一年三月

「殺すことと死なせること－J・ベネットの義務論批判」（共著者、田村圭一）『「環境」・「情報」・「生命」の相互関連をめぐる哲学的基礎研究』平成一〇 - 一一年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(2)）課題番号 10410001）研究成果報告書、研究代表者北海道大学文学部教授坂井昭宏、七五 - 八〇頁、平成一二年三月

「自然の流れと生命の終止－殺すことと死なせること」『現代の生命観と自然観に対する哲学的・倫理学的再検討』平成一二 - 一三年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(2)）12410001）研究成果報告書、研究代表者北海道大学大学院文学研究科教授坂井昭宏、一三一 - 三〇頁、平成一四年三月

「行財政改革と大学評価」「二一世紀日本の重要諸課題の総合的把握を目指す社会哲学的研究」平成一四 - 一六年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(1) 課題番号13410004）研究成果報告書『社会哲学研究資料集Ⅰ』研究代表者京都女子大学教授加茂直樹、四六 - 五二頁、平成一四年三月

Sakai, A., T. Isobe, S. Katagiri, M. Kobayashi and S. Ookoda, 'La loi française relative à la bioéthique : Quelques questions sur la conférence de Professeur Collange,'『続・独仏生命倫理研究資料集（下）』平成一五年度科学研究費補助金・基盤研究（B）(1) 課題番号14310016研究成果報告書、研究代表者千葉大学教授飯田亘之、四三四 - 四六三頁、平成一六年二月

「大学評価の方法－目的目標の設定と教育の効果」「二一世紀日本の重要諸課題の総合的把握を目指す社会哲学的研究」、平成一四 - 一六年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(1) 課題番号13410004）研究成果報告書『社会哲学研究資料集Ⅲ』研究代表者京都女子大学教授加茂直樹、一五五 - 一六六頁、平成一六年三月

「人文系教養教育の評価」『大学教育学会誌』二六巻一号、大学教育学会、二二 - 二六頁、平成一六年六月

「技術者倫理教育の評価」（共著者、須長一幸）『大学教育学会誌』二六巻二号、七一 - 七七頁、平成一六年一一月

「「人間の尊厳」自然主義化のいかがわしい結論－メタ倫理学的分析」『生命科学における倫理的法的社会的諸問題㈣』（「英米、独仏、日本における生命倫理思想の比較思想論的検討およびその社会的応用に関する研究」平成一六 - 一七年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(2) 課題番号16320002）研究代表者帝京平成大学教授飯田亘之、平成一七年度研究成果報告書、五八 - 七〇頁、平成一八年二月

Sakai, A., 'Some Objections Against the Lecture Given by Professor Michael Quante : "Quality of Life and Human Dignity",'『応用倫理学各分野の基本的諸概念に関する規範倫理学的及びメタ倫理学的研究』平成一六 - 一七年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(2) 課題番号16320001）研究代表者北海道大学大学院文学研

究科教授坂井昭宏、平成一七年度研究成果報告書、一六三－六六頁、平成一八年三月

「「人間の尊厳」と「生命の神聖」－古い規範概念の再検討」『応用倫理学各分野の基本的諸概念に関する規範倫理学的及びメタ倫理学的研究』平成一六－一七年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(2) 課題番号16320001）研究代表者北海道大学大学院文学研究科教授坂井昭宏、平成一七年度研究成果報告書、一－三八頁、平成一八年三月

【翻訳】

F・アルキエ著『デカルトにおける人間の発見』木鐸社、全三〇九頁、昭和五四年五月

J・F・コランジュ「人生の終わり、生命の停止、安楽死－フランス国家倫理諮問委員会の見解」（Fin de vie, arrêt de vie, euthanasie-Une position du Comite National déthique français）（大小田重夫、鶴真一と共訳）『続・独仏生命倫理研究資料集（上）』平成一五年度科学研究費補助金（基盤研究（B）(1) 課題番号14310016）研究成果報告書、研究代表者千葉大学教授飯田亘之、二二四－二三〇頁、平成一六年二月